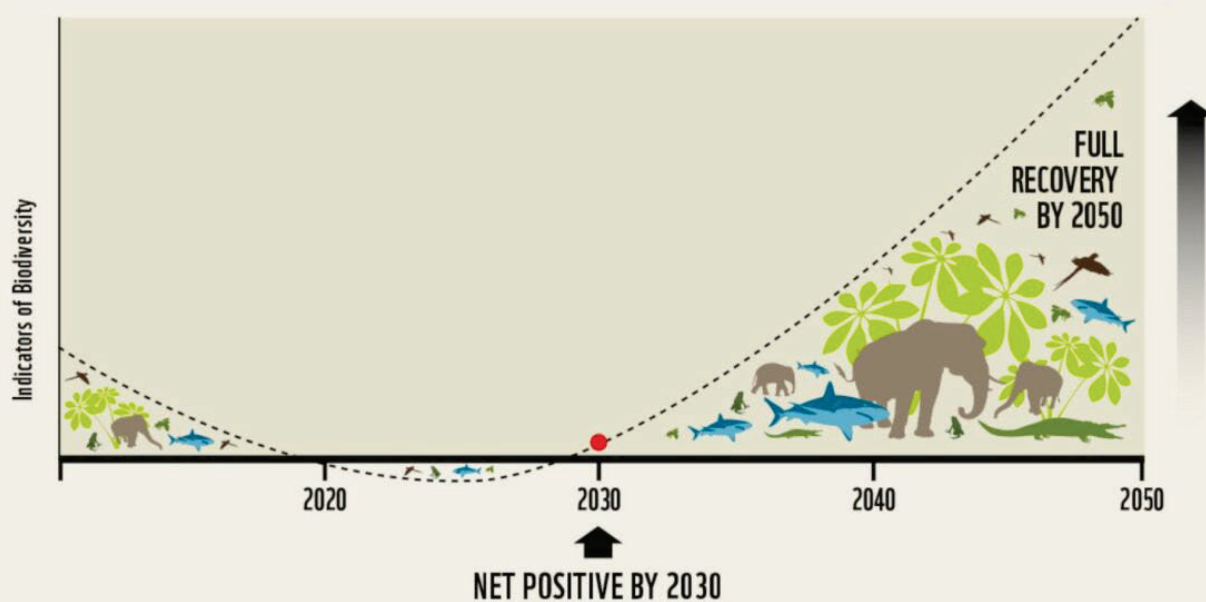


日本企業のネイチャー・ポジティブへの取り組みの動向

生物多様性と生態系サービスユニット 副ディレクター

高橋 康夫

Nature Positive by 2030



背景① 昆明・モンリオール生物多様性枠組（KMGBF）



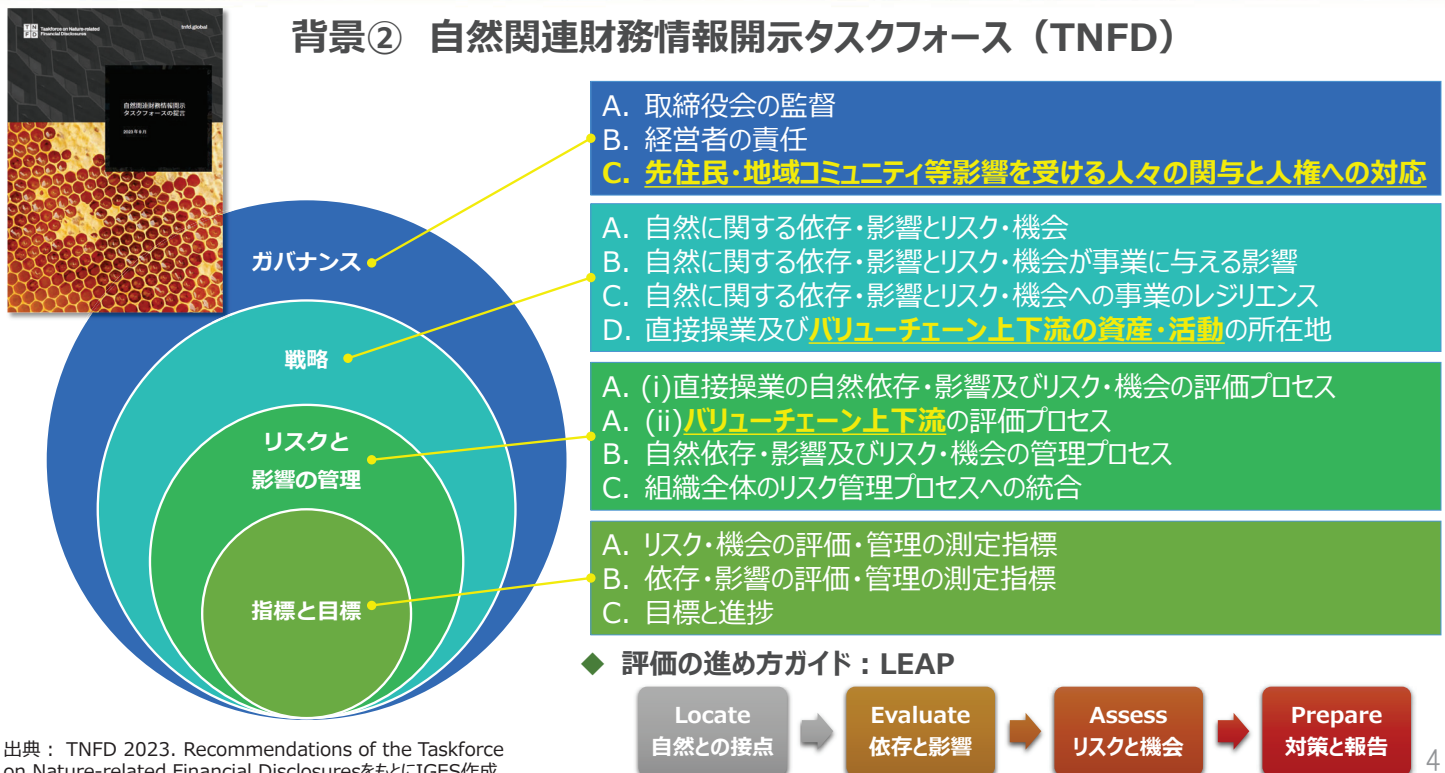
非国家主体によるKMGBF達成への貢献

- （決定COP16/2議題10附属書II）
- 「全政府・**全社会**アプローチ」
 - 報告事項**：活動名、KPI、該当するKMGBFターゲット・国別目標・ヘッドライン指標、活動の地理的範囲、SDGsへの貢献など

3

出典：環境省

背景② 自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）



出典：TNFD 2023. Recommendations of the Taskforce on Nature-related Financial DisclosuresをもとにIGES作成

4

企業のNPへの取組の進展： 経団連自然保護協議会アンケート(2023年度)

◆ 調査項目

- 生物多様性の経営への主流化
- GBFへの貢献
- TNFDへの対応状況
- 課題、気候変動との統合的対応など

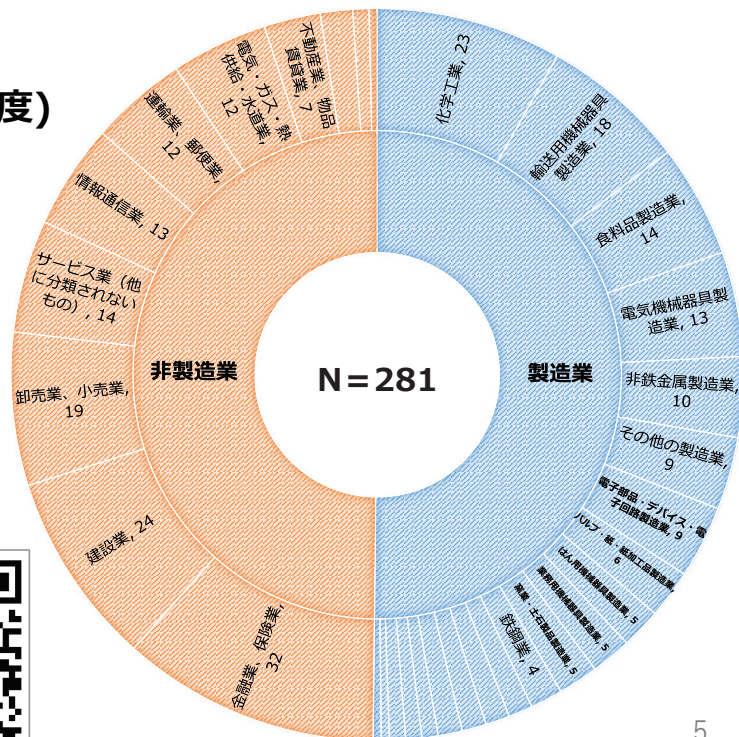
◆ 調査対象

- 経団連企業会員（1,542社＜2024年4月時点 経団連自然保護協議会会員含む＞）

◆ 調査期間 2024年3月～6月

◆ 有効回答数 281社

詳しくはこちら➡



5

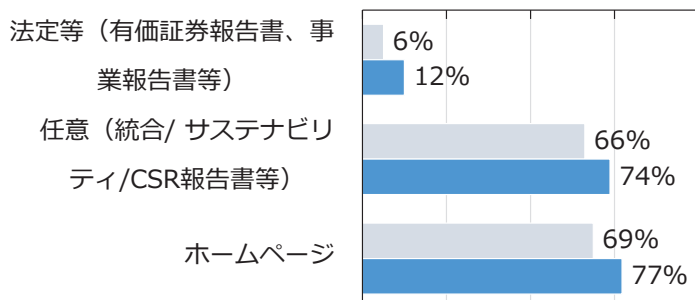
生物多様性に関する情報開示

- ◆ 生物多様性に関する情報開示をしている企業が増加傾向
- ◆ TNFD開示提言発表以降、情報開示に**TNFDを参照する企業が急増**

情報開示媒体の種類

有効回答数中の割合

0% 25% 50% 75% 100%

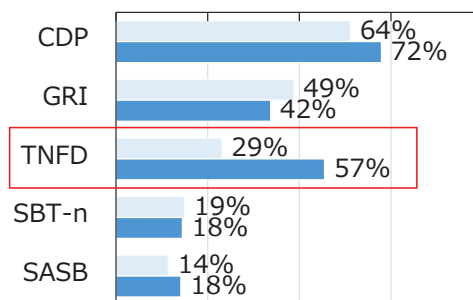


■ 2022年度 ■ 2023年度

参照したガイダンス

有効回答数中の割合

0% 25% 50% 75% 100%

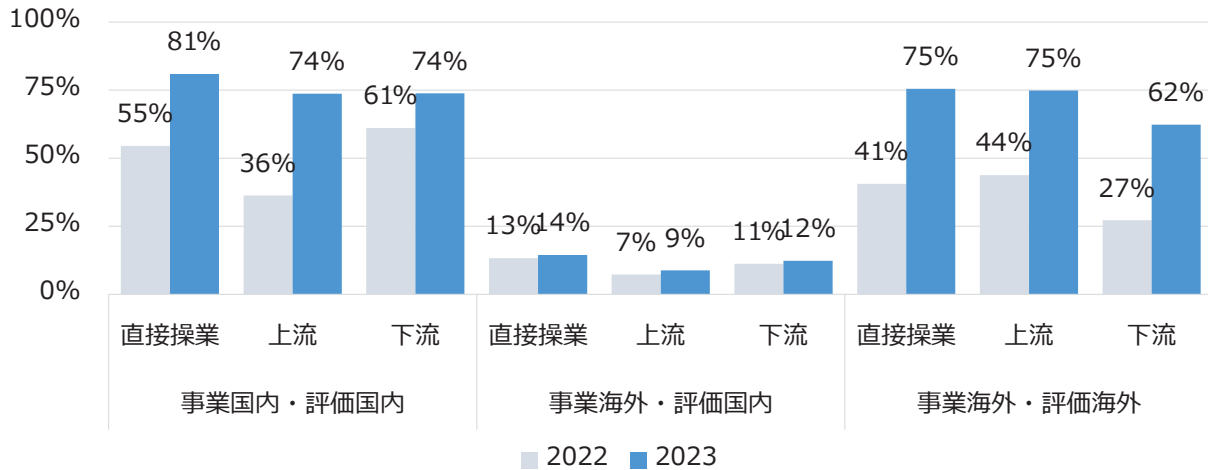


■ 2022年度 ■ 2023年度

6

バリューチェーンの評価

- ◆ バリューチェーン：金融機関の投融資先や保険契約引受先を含む
- ◆ 国内外のバリューチェーン評価を行う企業が増加：**バリューチェーンを通じた波及？**

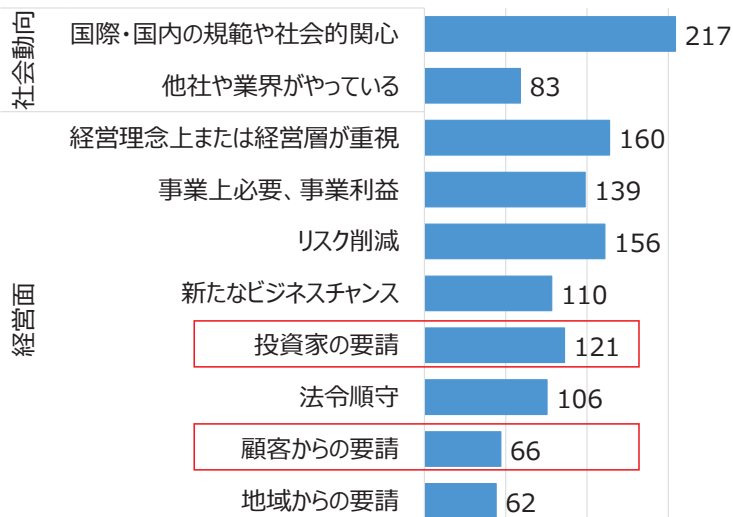


7

生物多様性への取組の理由

有効回答数中の割合 (N=281)

0% 25% 50% 75% 100%

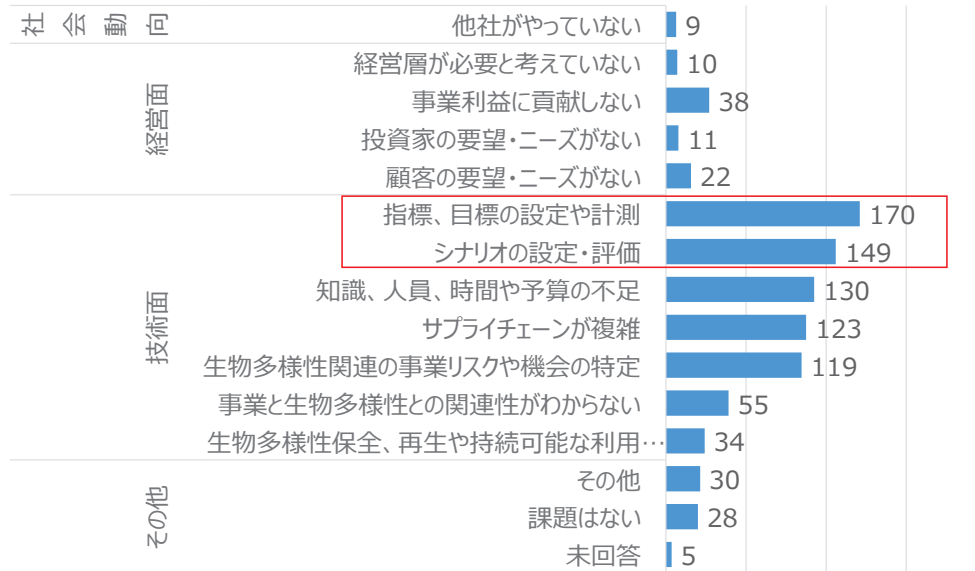


- ◆ 経営理念主導型や国際・国内の規範や社会的関心への対応など、**能動的動機**が多数
- ◆ 顧客や投資家からの要請など、**バリューチェーンを通じた波及**も
- ◆ 少数ながら、**地域からの要請**を受けて取り組む企業も

8

生物多様性に取り組むうえでの課題

有効回答数中の割合 (N = 281)
0% 25% 50% 75% 100%

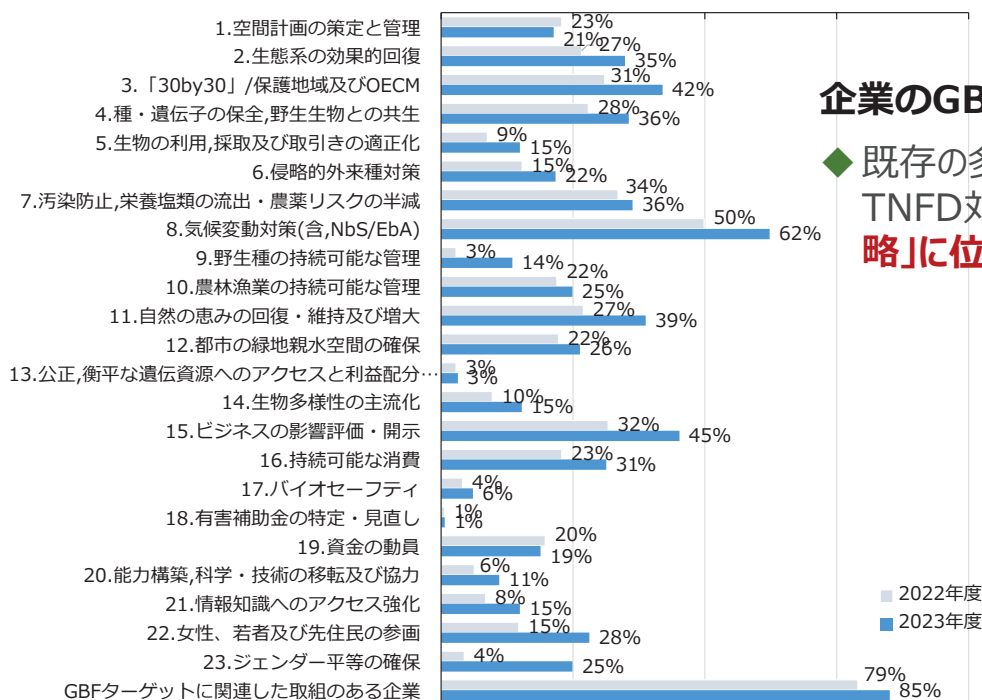


◆ 技術面の課題、特に**指標・目標の設定や計測、シナリオの設定・評価の難しさ**を挙げた企業が多数

9

GBFターゲット

有効回答数中の割合
0% 25% 50% 75% 100%



企業のGBFターゲットへの貢献

◆ 既存の多様な生物多様性への取組を、TNFD対応の「**ネイチャーポジティブ戦略**」に位置付けられる可能性

10

KMGBFに貢献する企業行動（事例抜粋）

GBFターゲット	活動名の例
2.生態系の回復	- サンゴ苗の植え付けプログラムや沖縄県内外における啓発イベントの開催【運輸業・郵便業】 - 採掘修了後の鉱山の生態系回復【卸売業、小売業】 - 海の森づくり(磯焼け改善に向け、全国44カ所で実施)【鉄鋼業】
3.「30by30」/保護地域及びOECM	- 竹中技術研究所「調の森 SHI-RA-BE®」生物多様性保全及びグリーンインフラの研究・実証フィールド【建設業】 - 海外連結会社における生物多様性調査の実施（ブラジル）【パルプ・紙・紙加工品製造業】 - 保有林における終わらない森創りの推進と自然共生サイトおよびOECM登録【不動産業・物品賃貸業】
12.都市の緑地親水空間の確保	「SEGES（シージェス、社会・環境貢献緑地評価システム）」の認定取得【金融業、保険業】 - 緑化事業による生物多様性への貢献【建設業】 - 希少性の高い都心部での森の再生【不動産業・物品賃貸業】
15.ビジネスの影響評価・開示	- 農産物原料リスク評価【食料品製造業】 - 自然・社会資本へのリターン率による生物多様性へのインパクトの把握【化学工業】 - 全拠点の生物多様性リスク評価【輸送用機械器具製造業】 - TNFDレポートの公表【金融業・保険業】

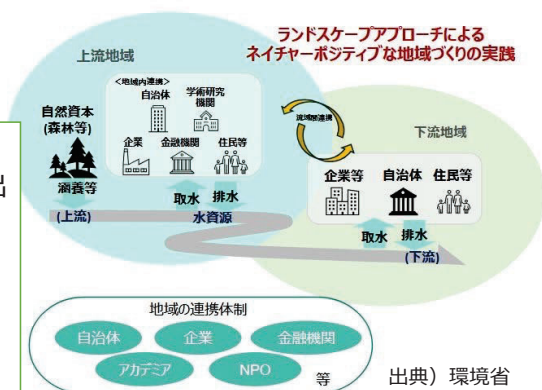
11

ランドスケープ・アプローチへの注目

- ◆ TNFD情報開示だけでネイチャーポジティブは達成されない
- ◆ 企業活動/バリューチェーンと自然が接する現場においてネイチャーポジティブを達成するために、個社の取組だけでは限界がある
- ◆ ランドスケープ・アプローチの必然性

ランドスケープ・アプローチとは？

- 地域の多様な人間活動と自然環境を総合的に取り扱い、課題解決を導き出す手法：世界農業遺産、ユネスコエコパーク、統合的流域管理など
- 生物多様性国家戦略2023-2030（環境省）に、ネイチャーポジティブへの取り組みにおけるランドスケープアプローチの重要性を明記
- TNFD金融機関向けガイダンス（環境省*）：自治体や企業、地域コミュニティ、研究機関に加え、地域金融機関の役割の重要性に言及



出典）環境省

➤「北九州市ネイチャーポジティブネットワーク」が果たせる役割に期待！

* 環境省(2025) <https://www.env.go.jp/content/000303044.pdf>

12



ご清聴ありがとうございました！

生物多様性と森林領域 / 副ディレクター

高橋 康夫

IGES Institute for Global Environmental Strategies
公益財団法人 地球環境戦略研究機関